



TBS

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月6日

上場会社名 (株) 東京放送ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略局長 (氏名) 小杉 尚 TEL 03-3746-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	69,118	△21.9	3,584	△28.1	8,130	△19.5	4,749	△27.0
2020年3月期第1四半期	88,488	△0.3	4,985	2.4	10,098	1.0	6,503	△3.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 61,124百万円 (907.4%) 2020年3月期第1四半期 6,067百万円 (△59.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	27.77	—
2020年3月期第1四半期	37.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	855,021	647,491	74.2
2020年3月期	783,024	591,931	73.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 634,409百万円 2020年3月期 578,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	319,900	△10.3	2,900	△77.9	10,200	△52.1	5,500	△81.8	31.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	174,709,837株	2020年3月期	174,709,837株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	4,039,007株	2020年3月期	2,388,826株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	171,067,937株	2020年3月期1Q	174,508,620株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、社会経済活動の抑制により、極めて厳しい状況になりました。緊急事態宣言の解除後、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていく中で持ち直しの動きも期待されますが、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした環境下、テレビ広告市況でも多くの業種で景況が悪化しており、スポット広告費の関東地区投下量は前年同期比65.6%と大変厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、タイム・スポット収入の大幅な減収、またイベントの中止、延期などにより、691億1千8百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、番組制作費や広告代理店手数料の減少などにより、655億3千3百万円(前年同期比21.5%減)となりました。

この結果、営業利益は35億8千4百万円(同28.1%減)となりました。また、経常利益は81億3千万円(同19.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は47億4千9百万円(同27.0%減)となりました。

◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は550億3千2百万円(前年同期比17.7%減)、営業利益は、24億7千5百万円(同0.8%増)となりました。

㈱TBSテレビのテレビ部門の当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、93億8百万円減収の366億2千9百万円(前年同期比20.3%減)となりました。このうち、タイム収入が189億6千5百万円(前年同期比10.2%減)、スポット収入が141億3千1百万円(同33.4%減)、国内番販や無料動画配信での広告収入を含むコンテンツ収入が25億8千9百万円(同2.6%増)となりました。タイム収入については、「マスターズ」をはじめとするスポーツイベントが延期・中止となったことに加え、レギュラーセールスも低調に推移し、減収となりました。スポットセールスについては、5局シェアは0.3ポイント改善しましたが、広告主による関東地区投下量の前年同期比34.4%減が大きく影響し、大幅な減収となりました。コンテンツ収入については、新作ドラマの無料動画配信がなかったものの、再放送を中心とした国内番販収入が伸長したことにより増収となりました。

㈱TBSテレビの事業部門の当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、18億1千1百万円減収の42億8千2百万円(前年同期比29.7%減)となりました。

催事・興行では、イベント自粛要請により公演中止が相次ぎ、映画事業においても新作映画の公開を延期するなどにより、大幅な減収となりました。

海外事業では、東アジアを中心とする番販環境の悪化で減収となりました。一方で、メディア事業は、CS事業の好調に加え、巣ごもり需要によりParaviなどSVOD配信収入が伸びたことで大幅な増収となりました。また、ライセンス事業も、ショッピング番組が好調であったことに加え、DVDの販売も堅調で増収となりました。

㈱BS-TBSの当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、ショッピング番組が堅調に推移したものの、スポーツ番組の休止や延期に伴うタイム単発の減収をカバーしきれず、5億8百万円減収の37億3千万円(前年同期比12.0%減)となりました。

㈱TBSラジオの当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、厳しいラジオ広告市況の中、イベント開催の自粛の影響を受け、4億7千5百万円減収の19億6千4百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

費用面において、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う番組収録の中止や延期による制作費の大幅な減少に加え、事業部門もイベント・公演中止により費用が減少しました。また、広告代理店手数料の減少などがあり、同セグメントにおける営業利益は2千万円増益となる24億7千5百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は、102億7百万円(前年同期比41.7%減)、営業損失は9億4百万円(前年同期は4億7千3百万円の黒字)となりました。

㈱スタイリングライフ・ホールディングスは、政府による4月の緊急事態宣言発出に伴い、中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」において、店舗の臨時休業を余儀なくされ、さらに化粧品事業「BCLカンパニー」においてインバウンド売上が激減したことにより、大幅な減収減益となりました。

◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は38億7千8百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益20億1千4百万円(同2.1%減)となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う赤坂Bizタワーの稼働低下により、減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は8,550億2千1百万円で、前連結会計年度末に比べて719億9千7百万円の増加となりました。現金及び預金が配当金の支払いや有形固定資産の取得等により48億4千4百万円減少、受取手形及び売掛金が103億5百万円減少した一方、保有する株式の含み益の増加等により投資有価証券が842億5千万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は2,075億3千万円で、前連結会計年度末に比べて164億3千6百万円の増加となりました。借入により長期借入金が70億円増加、保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が282億9千万円増加した一方、支払手形及び買掛金が60億9千1百万円減少、未払金が66億9千1百万円減少、未払法人税等が68億6千5百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は6,474億9千1百万円で、前連結会計年度末に比べて555億6千万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払いにより利益剰余金が差し引き18億1千9百万円増加、その他有価証券評価差額金が568億3千1百万円増加した一方、自己株式の取得に伴い自己株式が26億4百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は74.2%、1株当たりの純資産は3,717円15銭となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、企業の広告出稿が大幅に減少した一方で、通販や動画配信などの巣ごもり需要の増加や費用減少による増益効果もあり、売上高は想定範囲内、利益は想定を上回る水準で推移しました。

このような環境下、新型コロナウイルスによる企業の広告出稿の減少が第2四半期連結会計期間まで続き、それ以降回復に向かうシナリオを想定し、2020年5月14日の「2020年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想を下記の通り修正させていただきます。

なお、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記シナリオに重要な変動が生じた場合には、速やかに修正開示いたします。また、配当予想については、今後の業績の推移等をみたくうえで改めて検討することとし、現時点におきましては未定とさせていただきます。

2021年3月期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	323,800	2,900	10,200	5,500	31.92
今回修正予想 (B)	319,900	2,900	10,200	5,500	31.92
増減額 (B-A)	△3,900	—	—	—	—
増減率 (%)	△1.2	—	—	—	—
前期実績	356,796	13,103	21,274	30,174	173.28

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,419	80,575
受取手形及び売掛金	41,476	31,170
有価証券	800	1,600
商品及び製品	8,518	8,820
番組及び仕掛品	6,176	6,832
原材料及び貯蔵品	657	748
前払費用	11,344	13,170
その他	4,512	5,732
貸倒引当金	△104	△104
流動資産合計	158,800	148,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	210,284	210,118
減価償却累計額	△119,055	△120,304
建物及び構築物 (純額)	91,229	89,813
機械装置及び運搬具	81,473	81,675
減価償却累計額	△71,416	△72,141
機械装置及び運搬具 (純額)	10,056	9,533
工具、器具及び備品	31,768	32,024
減価償却累計額	△29,367	△29,553
工具、器具及び備品 (純額)	2,400	2,470
土地	96,820	96,820
リース資産	4,454	4,626
減価償却累計額	△2,884	△2,985
リース資産 (純額)	1,569	1,640
建設仮勘定	8,592	8,320
有形固定資産合計	210,669	208,598
無形固定資産		
ソフトウェア	5,321	5,365
のれん	13,205	12,756
リース資産	5	4
その他	1,494	1,797
無形固定資産合計	20,027	19,922
投資その他の資産		
投資有価証券	379,820	464,070
長期貸付金	198	188
繰延税金資産	2,108	2,478
長期前払費用	236	210
その他	11,331	11,173
貸倒引当金	△167	△167
投資その他の資産合計	393,527	477,953
固定資産合計	624,223	706,475
資産合計	783,024	855,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,479	32,388
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,200
未払金	15,510	8,819
未払法人税等	9,001	2,136
未払消費税等	2,191	2,399
未払費用	1,602	1,672
賞与引当金	4,365	1,601
役員賞与引当金	80	12
その他の引当金	330	342
その他	8,259	11,666
流動負債合計	81,021	62,239
固定負債		
長期借入金	600	7,600
環境対策引当金	121	121
退職給付に係る負債	15,625	15,412
リース債務	736	782
繰延税金負債	77,342	105,632
その他	15,646	15,741
固定負債合計	110,072	145,290
負債合計	191,093	207,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	47,474	47,474
利益剰余金	306,150	307,970
自己株式	△3,952	△6,556
株主資本合計	404,659	403,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173,905	230,736
繰延ヘッジ損益	26	27
為替換算調整勘定	△17	△25
退職給付に係る調整累計額	△211	△203
その他の包括利益累計額合計	173,701	230,534
非支配株主持分	13,569	13,082
純資産合計	591,931	647,491
負債純資産合計	783,024	855,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	88,488	69,118
売上原価	60,214	46,986
売上総利益	28,274	22,131
販売費及び一般管理費	23,288	18,547
営業利益	4,985	3,584
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	4,470	4,131
持分法による投資利益	34	442
その他	696	153
営業外収益合計	5,206	4,731
営業外費用		
支払利息	6	10
固定資産除却損	11	45
固定資産圧縮損	—	21
その他	76	106
営業外費用合計	93	185
経常利益	10,098	8,130
特別損失		
感染症拡大に伴う損失	—	※ 1,314
投資有価証券評価損	171	157
組織再編関連費用	—	36
特別損失合計	171	1,507
税金等調整前四半期純利益	9,926	6,622
法人税、住民税及び事業税	1,813	1,835
法人税等調整額	1,478	497
法人税等合計	3,291	2,332
四半期純利益	6,634	4,290
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	130	△459
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,503	4,749

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	6,634	4,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△486	56,827
繰延ヘッジ損益	△17	0
為替換算調整勘定	△22	△8
退職給付に係る調整額	△20	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	4
その他の包括利益合計	△567	56,834
四半期包括利益	6,067	61,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,935	61,581
非支配株主に係る四半期包括利益	132	△457

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、通販や動画配信などの巣ごもり需要の増加や費用削減による増益効果が生じたものの、企業の広告出稿が大幅に減少したことで、当社グループの活動に重要な影響が生じております。

前連結会計年度においては、新型コロナウイルスによる企業の広告出稿の減少の傾向が当第1四半期連結会計期間一杯まで続き、それ以降回復に向かうシナリオを想定しておりましたが、当第1四半期連結会計期間における新型コロナウイルスによる影響を踏まえて、当該傾向が第2四半期連結会計期間まで続き、それ以降回復に向かうシナリオに変更し、会計上の見積りを行っております。

なお、当社グループは、四半期連結財務諸表作成時点で入手可能な情報に基づいて会計上の見積りを行っておりますが、新型コロナウイルスによる経済活動への影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、当連結会計年度の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 感染症拡大に伴う損失

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの要請や声明等を踏まえ、イベントの中止、店舗営業の自粛により発生した固定費(人件費・賃借費・減価償却費)等を「感染症拡大に伴う損失」として、特別損失に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,862	17,510	4,115	88,488	—	88,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	0	1,283	1,322	△1,322	—
計	66,901	17,510	5,398	89,810	△1,322	88,488
セグメント利益	2,454	473	2,057	4,985	0	4,985

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	55,032	10,207	3,878	69,118	—	69,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69	6	1,194	1,270	△1,270	—
計	55,102	10,213	5,072	70,389	△1,270	69,118
セグメント利益又は損失 (△)	2,475	△904	2,014	3,585	△0	3,584

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

㈱TBSテレビ事業収入の内訳 (第1四半期)

(単位: 百万円)

区分	前第1四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	比較		前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	45,937	36,629	△9,308	△20.3	182,083
タイム	21,122	18,965	△2,157	△10.2	87,230
スポット	21,218	14,131	△7,087	△33.4	79,275
コンテンツ	2,524	2,589	65	2.6	10,892
その他	1,072	943	△128	△12.0	4,684
事業	6,093	4,282	△1,811	△29.7	25,304
不動産	718	753	34	4.8	2,996
合計	52,750	41,665	△11,084	△21.0	210,384